

だいち

地域に生きる

編集者：蓮田太陽の里

「だいち」広報委員会

〒349-0101

埼玉県蓮田市黒浜1045-1

TEL 048-764-3881

FAX 048-764-7788

H P <http://minuma-hukushi.com/>



書：関口 忠司

巻頭コラム

みぬまコンサート

3月9日(土)にみぬまコンサートに行ってきました。今回の会場である川口リリアは、車イスの席数の関係で大地からの参加は諸岡さんだけとなりました。出演は東京室内管弦楽団の皆さん、テノール歌手の中鉢聡さん、ソプラノ歌手の種谷典子さんです。前半の東京室内管弦楽団の皆さんの演奏では馴染みのあるジブリやディズニーの曲でとても楽しい時間となりました。後半は中鉢さんの力強い歌声と種谷さんのしなやかな美声が会場中に響き渡りました。マイクなしとは思えないほどの歌声には圧倒されるばかりでした。

最後のプレゼント贈呈では、諸岡さん緊張する様子なく、「ありがとうございます」とプレゼントを渡すことが出来ました。来年度は大地全員で参加しましょう！

高橋 茂奈美(職員)



〈文化担当より〉

今年度の文化は昨年度課題であった買ひ物の取り組み、棟整備の話し合いを中心に行ってきました。買ひ物の取り組みについては、風邪の流行や気候に左右され、行けないことが多く、見通しを持って実施することが難しかったです。次年度は体調や気候に左右されない時期に予定し、地域社会との接点を持つ機会をつくっていききたいと思います。棟整備は、仲間全体で話し合いをしました。自分達の生活を振り返ること、組み立てていくこと、また自分だけではなく他者のことも考えて意見を言合える場に繋がられているのではないかと思います。そして出た内容を明るい大地の会で要望書を提出するなど自治活動も交えた流れになるようにしました。学習会では、上半期

に選挙の学習会、下半期には仲間からの希望で仲間のコミュニケーションの取り方について学習会をおこないました。仲間自身が学びたいことをおこなうことで、興味・関心を高めることができ、お互いをより知る時間となりました。

文化は生活を豊かにしていくこと、生活の質を高めることを目標としています。ですが、最近は医的ケアが増え、思うように活動が進まなくなってきました。保守体勢の活動が増えています。そのような中でも仲間の生活が豊かになるよう考え、て行く事が今後の課題になってくるかと思っています。次年度も色んな活動を考えていきたいと思っています。

小田嶋 里佐（職員）

〈リハビリ担当より〉

大地の仲間達は身体機能上リハビリの必要性をたくさん抱えています。限られた時間の中、職員は仲間ひとりひとりの身体機能に合わせたリハビリを行っていかねばいけません。また、高齢化に伴い活動意欲の低下が課題であり、仲間の内面にも目を向け、リハビリ意欲の向上を目指しています。

また、現在行っているリハビリで十分とは言えないからこそ、生活の中での動作の工夫が必要です。リハビリには繋がらないような生活動作であっても、他者との共感、自分への自信や誇り、生活の広がりを目に向けていき、仲間たちの活動意欲を引き立て、積極的に体を動かしていることに繋がっていく。また、職員側からも普段の生活の中でのリハビリを意識した支援を行なっていくこ

とを大切にしています。

今年度はリハビリプログラムの大幅変更とリハビリの学習会を開いて、職員全体のリハビリ技術の底上げを図りました。始めたばかりで目に見えた変化は無くとも、仲間達のリハビリを行っていくには技術向上は必要であるため、これからも試行錯誤し進めていきたいと思っています。また、仲間のリハビリに対しての意欲にも引き続き目を向けていきます。リハビリに入るとき黙って黙々とやるのではなく、話し合いながら行なうことでリラックスできたり、やる気になれるようにしていく。そのため、仲間一人ひとりどのような声のかけ方が適当であるかを、引き続き話あって発信して行こうと思っています。

大浦 健一（職員）



＜音楽療法担当より＞

体調不良などでセッションが中止になった事も二回ほどありましたが、今年度も、多くの仲間達が楽しく音楽療法に参加することができました。

髙田先生、加地先生が音楽療法を担当してくださり、15年が経ちました。職員よりも仲間のことをよく知っていて、仲間の昔の様子や変化など先生方から聞く機会も多くありました。大地内だけではなく、外部の方々からも支援を頂き仲間達がたくさんの刺激を受け健やかに生活が送れている事に感謝の気持ちが湧いてきます。

音楽療法では、仲間達が期待や目標を持って取り組んでいるプログラムの一つに「個人演奏」があります。チェアホン、でんでん太鼓、鈴、パーラック、レインスティックという5種類の楽器から好きな楽器を選

び取り順番に演奏します。もうすぐ

自分の順番だ、と嬉しそうな笑顔で期待をして待ったものの、順番がまわってきて周りから注目が集まると固まってしまう仲間もいたり、軟らかいチェアホン(握って離すと音が鳴る楽器)を鳴らすことが出来たから、今度は硬いチェアホンに挑戦してみよう、と目標をもって取り組む仲間、全楽器を選び取り、全制覇する仲間…それぞれ色々な思いを持ちながら取り組んでいました。

楽器の種類は仲間の機能や目的により毎年変化します。来年度はどんな楽器が登場するのでしょうか？楽しみます。

池沢 宏美（職員）



＜園芸療法担当より＞

今年度を振り返って印象に残ったことは、入院等の理由で園芸療法に参加できない仲間のために、他の仲間が作品を作ってプレゼントしてくれたことです。入院先の仲間に届けるととても嬉しそうにしている、仲間達の深いつながりを実感した瞬間でした。また、作品展で販売する製品を作った時は、ひとつの製品を各グループのみんなで協力して作り上げていました。あるグループでは「シンプルな方が売れる」と男らしい製品を作って、実際に売れていたことが印象に残っています。

今まで園芸療法に興味なかった仲間が、「みんなと一緒に楽しみたい」と笑顔で参加するようになったり、園芸療法を続けていく中で発言が増えた仲間や仲の良い仲間同士で協力して作品を仕上げたりなど、仲間一

人ひとりに変化が現れていることに白崎先生も職員も驚き、「活動を続けてきて良かった」と思いました。

来年度も販売品作りや季節に沿った活動を予定しています。母の日のメッセージカード作りやじゃがいも掘りなど、人気のあった活動は来年度も継続します。また、ラベンダーの苗を昨年度新しく植え替えました。株が大きくなったら販売しますのでよろしくお願いします。

堀江 正人（職員）



健康給食担当より

昨年度、私たちは大切な仲間を一人失うという、とても悲しい経験をしました。あまりに突然のこととでいまだに実感がわかず、パントリーで食事をしていると秋山さんの隣の席がぽっかり空いていることに違和感を覚えます。なぜここに亮さんがいないのだろう…と。私たち健康給食委員会は、仲間の健康を守る事が役割です。年々飲み込む力が弱くなり、食事を摂取することに課題がある仲間が増えていきます。飲み込みに問題があると誤嚥性肺炎のリスクが高まり、時に命の危険もあります。また、風邪が悪化し、肺炎になってしまふ仲間も少なくありません。仲間ひとりひとりの健康を守るために、看護師や作業療法士がうるさく言うことがあるかと思えます。しか

しそれは、仲間が元気でいるためだから仕方ない、とご理解いただければと思います。

今年度から大熊看護師の勤務時間が延長され、看護業務の分担や休日の看護体制が整えられそうです。年々、医療的ケアを必要とする仲間が増えていますが、誰ひとり掛けることなく元気に楽しく過ごす事を目指しましょう。その為に健康給食委員会のメンバーは今年もパワーアップしていきま

中山 郁（看護師）



異動職員挨拶

ボーナスの目標に向かってみんなと仕事をしました。石けんを作ったり、布を裂いたり、作品展をしたり。仲間がマスターをして、喫茶を定期的におこなっていた時期もありました。やる事が一杯で、忙しかったけれど、いい経験になったと思います。

一泊旅行で那須、鎌倉、静岡などに行きました。個別外出では、秋山さんや関口さんと深谷のプールに行ったり、安藤さんと国技館に相撲を見に行ったり、西村さんや岩崎さんとカシオペアに乗り北海道旅行にも行きました。大変だったけど、本当に楽しかった。夏の打ち上げでは、暑い中BBQをしたり、運動会で一生懸命走ったり。暮らしの場準備会では、仲間部会担当として、施設の枠を

超えた仲間たちと話し合いをしました。また、東日本大震災では、被災地支援にも行きました。

どの思い出にも仲間や家族、職員みんながいます。困った時は一緒に悩んだり、辛い時に励ましてくれる人たちがいました。嬉しいことがあった時は、一緒に笑い、喜べる人たち。たくさんの人に支えられ、大切にしてもらいました。だから、自分も人を大切にすることを心掛け、仕事をしてきました。大地のことは、可愛い後輩たちが頑張ってくれると信じています。みんな頑張れ！応援してるよ。大地での10年で経験を積み重ね、人として成長させて頂きました。4月から私も太陽の里で頑張ります。最後に…支えてくれた皆さまへ。
「あらがやいびいまた」

松崎 空木（職員）

こんにちは！4月から大宮太陽の家に異動することになりました。大地とは学生時代に音楽ボランティア「みそら」で出会い、仲間たちと音楽を楽しみながら、宿直アルバイトもさせて頂きました。日々の生活の中のちょっとした幸せ、仲間と過ごす暖かい時間の積み重ねを経験し、「ここで働きたい！」とみぬまの試験を受けたことを覚えています。

大地に入職し、楽しい時間ばかりだけでなく、つらいことや悲しいこともありました。それでも「やっぱりみぬまで働いてよかった。大地に出会えてよかった」と心から思います。楽しみや喜びを共に経験することは大切ですが、つらいこと、悲しい経験を一緒に乗り越えていくことで、より絆が深まっていったように感じます。

私は仲間のために何ができるのか？仲間のことを考えているように、反対に私が仲間たちからたくさん力をもらい、仲間、家族、同僚：たくさんの人たちに支えられているなあ、と日々感じます。

「誰かのために、は自分のために」なること、伝えることを諦めないこと、ちょっとした変化に気づいてもらえる安心感、安心の土台があって挑戦が広がること、相手を理解しようとする心と自分の心を開くことで人と人は結ばれていくこと：たくさんの方を大地で教えてもらいました。この経験を糧にこれからも元氣いっぱい頑張ります。これからもよろしくお願いします！

島田 明音（職員）

こんにちは、太陽の里へ異動になりました小原です。私が大地に入職してから2年間が経ちました。2年という時間は、大地で生活を共にする中で、他の職員よりも仲間と関わった時間は短かったと思います。でも、みんなと生活したり仕事をしたこの2年間はとても充実していたんだと、今思います。

大地に勤めてからは辛いことが多く、いつも「辞めたいな」と思う気持ちが片隅にありました。それでも辞めずに続けてこられたのは、仲間と共に喜びを分かち合えたこと、職員・ご家族の優しさがあったからだと感じています。10の辛いことがあっても、楽しい・良かったと思えることが1つあれば頑張れるもんだなあと改めて思うことが出来ました。

大地での生活は、意外と些細なことばかり覚えていきます。記録には残らないようなやりとりや表情、会話だったり：その積み重ねが仲間と関わる上で大切なことなのだと感じています。また、仲間と横浜旅行へ行ったことや、外出で映画を観に行ったり、仙台へ行ったことなど大地での生活を含め、決して多くはないですが私にとって良い思い出です。

異動が決まってから、この2年間を振り返ってみると、洞察力や考える力、努力が足りなかったと反省ばかりが残ります。

まとまらないですが、仲間・職員・ご家族のみなさま、本当にありがとうございます！

小原 陵太（職員）

なかまと

みんなの

轉冊



近野茂治の 今月のイイネ!



週末にみんなで
オセロをしました。
ぼくは審判！



詩のコーナー

とやももの

[illegible]



やりまして
みんなで



まりこの 素敵な日常

るみちゃんちにいってきました。
たこやきをたべました。
マクドナルドにもいきました。

まりこ

おとうさんももうすこしなにかでま
すように。げんきです。

「はれ」にいてみたい。

2019ねん4月2日(か)



3月23日(土)

3月20日にシャインの卒園式に出
席しました。

緊張して言葉がスラスラ出てこな
かったけど、頑張って喋りました。

あゆむくん、

卒園おめでとうございます！

りえ



みんなの
おすすめ

ボランティア ウエス・古本・バザー品の募集

『大地』では、地域の皆さまに以下のご協力をお願いしています。

①ボランティア募集

館内の清掃や洗濯物の整理、ちょっとした身の周りのお手伝いや、外出の付き添いなどのボランティアさんを募集しています。

②ウエスの材料、バザー品（古本、雑貨）

仲間達が仕事で使う、ウエス製品の材料→綿100%の衣類、タオル、シーツ。また、バザーなどで販売するための古本（文庫本、マンガ）、雑貨（家庭で不要になったまだ綺麗で使える物）を募集しています。是非ご協力お願いします。

①ボランティア担当（面来、北隅）

②ウエス、古本担当（野村、北隅）

ありがとう
ございました！



（順不同）

岩上 めぐみ 様

31年3月度に寄付して下さい下さった方

ありがとうございました

大地の4月の予定

1日	（月）	辞令交付式
6日	（土）	職員会議 家族会
13日	（土）	蓮障連総会
20日	（土）	職員会議

【異動職員】

- ・松崎空木さん、小原陵太さんは太陽の里へ異動されました。
- ・島田明音さんは大宮太陽の家へ異動されました。

～大変お世話になりました。

また大地に遊びにきてください！～

四 方 山 話

よもやまばなし
みんなのおしゃべり広場

今月の担当…島田 明音

大地でお正月にみんなでババ抜きをしました。ババを抜かれると思わずニヤリとしてしまったり、いろいろな手を使って惑わせてみたり…お互いの顔を見て探りあいながらトランプを引くのはなかなか楽しいものです。

大地でやったババ抜きがあまりに楽しく、実家で祖父母、両親、私という平均年齢64・5歳というメンバーに焼肉をかけた大勝負を仕掛けました。何食わぬ顔で一番に上がっていく祖父、ババを引くと大笑いしてしまう祖母、自慢の家族です。そんなこんなで次に実家に帰る時は父のおごりの焼肉が待っています。ニヤリ。

大人になってから、こんなにトランプで楽しめるとは思ってもみませんでした。皆さんもぜひ！

課業より

【平成30年度を振り返って】
ウエスの仕事を振り返ってみます。

昨年度は、最初から最後までメリヤスの材料不足に泣かされた年でした。皆さんは肌着に何を着ていますか。寒い冬に暖かいヒートテック肌着ですか。綿100%の白い肌着を着ている人って居ますか。

今の時代「綿100%の白い肌着」は集めにくくなっているのです。ウエスの担当、課業職員みんな、更には大地職員みんなに知恵を借りて、ピンチを抜け出そうとしているのですが、まだまだトンネルの中で、出口が見えて来ません。

でも、大地のウエス製品は本当に綿100%の製品である事に加え、みんなの仕事が丁寧、と評判が良いです。

皆さんの知恵を貸してください。

高崎 隆夫（職員）



<広報だいち> 広報委員会（職員）面来・安藤・岡部・高篠
（仲間）田村・神永・土屋莉恵・関口・近野・戸谷